

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2017 March 1

■ 2016～2017年度方針

ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.31

例会報告

●第2164回例会 平成29年3月1日(水)曇

●3月は水と衛生月間

●君が代

●ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員 100 名中 出席66名
(90)

出席率73.33% 修正出席率88.30%
(2月15日分)

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

玖島ローズ代表 玖島悦子さん

●ニコボックス

「本日の卓話の玖島悦くしまえつこさんをよろしくお願ひします。
きっとバラ色の人生をご提供いただけたと思います。」

坂倉弘康君

「玖島さん、ようこそ名古屋和合RCへ。毎日WFFに
ご参加いただきありがとうございます。また次回もよ
ろしくお願ひします。」

福田哲三君

「安井さんのファニチャードームの西側にメーカーズピ
アという商業施設がオープンします。照明・噴水に
弊社のワイヤーロープを使っております。お子様やお
孫様とお出かけ下さい。」

加藤一郎君

「先週(2/23～2/26)6RCの旧幹事7名で、ベトナム
訪問して来ました。」

林 邦司君

「先週は所用で欠席し、失礼いたしました。」

高木一平君

本日のニコボックス 5件 10,000円

累計 115件 1,107,000円

柏木博喜幹事報告

▽3月のロータリーレート

3月のロータリーレートは、1ドル116円です。

▽当クラブ行事予定

・3月1日(水) 本日例会終了後、2月22日(水)

に開催を予定しておりました理
事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・3月15日(水) 45周年記念式典及びに春の家族
会を開催致します。

受付 17時～

式典開始 17時30分～

祝賀会開始 18時～

閉会 20時予定

※場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※3月15日(水) お昼の例会はございません。

・3月22日(水) 規定休日のため、休会です。

・3月29日(水) お花見例会を開催致します。

場所はウェスティンナゴヤキャッ
スルです。時間は12時30分～です。

※例会終了後、2月22日(水)に開催を予定してお
りましたクラブアッセンブリーを開催致します。

理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致し
ます。委員長ご欠席の場合は、代理の方のご出席
をお願い致します。

※クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致し
ます。理事及び役員のご出席をお願い致します。

・4月11日(火) 12時30分～、6RC合同例会
です。場所は名古屋東急ホテル
です。

※名古屋千種RCがホストのため、日程と場所が変
更となります。

4月12日(水)のウェスティンナゴヤキャッスルでの
例会はございません。

※本日、6RC合同例会のご案内を配布しております。

高木一平会長挨拶

“花粉症の秘密”

「デカンショ、デカンショで半年暮し、後の半年寝て
暮す」という歌がありますが、我々耳鼻科医は「カフ
ンショ、カフンショで半年暮し、後の半年も忙しい」と
いう毎日を送っています。

なぜこんなに花粉症が増えたのかについては諸説あります。

まず杉の花粉そのもの増加説。戦後、杉の大量植林をしたまま手入れしないで花粉が増えたというものです。しかし花粉そのものは昔からある程度存在しており、古い文書を見ても花粉症らしい病気の記載は一切ありません。つまり無から有が生じたわけで、この説には納得できません。

次に食生活の変化説。現代は昔と比べて油や肉料理が多く、この中にはアレルギーを助長する成分が含まれていることは証明されています。これはある程度関係があるでしょう。

さらに大気汚染説。特にディーゼルの排気成分にはアレルギーを増悪させる作用が証明されています。しかし大気汚染物質は近年低下傾向にあり、これも今や重要性に欠けるでしょう。

最近もっともらしい説は「衛生仮説」というものです。元々リンパ球は細菌やウイルスに対して働くグループとアレルギー反応に関わるグループの二つに別れています。幼い頃に細菌やウイルスに頻繁に暴露されていると、前者のリンパ球が活性化して、後者は抑制されることがわかっています。昔は不衛生な環境が主流で、アレルギー系のリンパ球が活性化していなかったのが、現代では衛生環境の進化でアレルギー系リンパ球が増えてきたというのが真相のようです。

皆さんの子供さん、お孫さんなども泥んこ遊びや、犬猫と一緒に寝たり、といったいわゆる不衛生な環境に置かれた方が、のちのアレルギーの発症リスクは少なくなります。その代わり感染症のリスクは増えますので、よし悪しかもしれません。

卓 話

食べるバラの専門店・玖島ローズ



玖島ローズ代表 玖島悦子
元々、お花は食用ではない為、野菜と比べるとより多くの農薬が使われている事をご存知でしょうか？その中で、食用バラの栽培は自然との闘いでした。農薬が病害虫から予防してくれていたものを止めると同時に、自らの力で生き抜いていけなくなったバラたちが本来の免疫力を取り戻すようになるまで観賞用にはとても辛い見目でした。しかし、香りは最高に素晴らしいものでした。そんなバラたちを切ない気持ちで眺めながらふと思ったのです。「野菜や果物は加工ができるのに…。そうか、じゃあ加工すればいいんだ！」ここから数々の苦悩と喜びとそしてたくさん

の協力者の方々と出会い、玖島ローズの現在があります。今後も、人々の美しい毎日に貢献して参ります。

たまたま訪れた農家で目にした無農薬のバラ。無農薬であるがゆえに形が崩れ、観賞用として出荷出来ないバラも多く出来てしまうとの事でした。その話を聞き、なぜか、「私がこの無農薬のバラの存在を世の中に伝えなければ」と強く思い、思わずこう口にしてしまいました。「毎週そのお花買います」それからというもの毎週100輪以上ものバラが家に届く様になりました。当時別の仕事をしていて売らなくても困り果てていたある日、無農薬だから大丈夫だろうと、ふと「食べてみよう」と思いました。食べた後にすごく良い香りが残った事を鮮烈に覚えています。この香りに私は癒されてしまったのです。

私は33歳の時に離婚をし、当時3歳だった娘をシングルマザーとして育ててきました。いつも気を張り何かと戦いながらの生活でした。その心の扉を開いてくれたのがバラだったのです。近所でも名の知れたパティスリーに駆け込み無農薬のバラを使って商品を作りたいと頼み込みました。シェフの協力を得て、シロップ、ジャム、お茶、スイーツなど数々のバラの食品が生まれていきました。その後少しずつですが、販売範囲も広がっております。バラは女性の感情に働きかけてくれる花です。バラを口にした瞬間、心のスイッチが入った様に、女性らしさを思い出させてくれるのです。

●第8理事会（平成29年3月1日（水）例会終了後 ウェスティンナゴヤキャッスル）

- ・「環境保全委員会」廃止の件
- ・「2017-18年度 役員・理事・委員会及び組織図」の件
- ・社会奉仕委員会の「(知的) 障害者絵画展」のための財団地区補助金申請の件
- ・職場例会の件
- ・その他

例会	月日	今後の予定
第2165回	3. 8	2760地区ローターアクトクラブ 地区幹事 水野里咲さん 「名古屋名城ローターアクトクラブ の現状とアクトに入るメリット」
第2166回	3. 15	創立45周年記念例会・春の家族会 受付 17:00～ 開会 17:30～ 閉会 20:00予定 ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)
	3. 22	規定休日(例会はございません)
第2167回	3. 29	お花見例会 12:30～13:30 (ウェスティンナゴヤキャッスル)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。